

教育研究業績書

2020年10月27日

所属：建築学科

資格：准教授

氏名：宮野 順子

研究分野	研究内容のキーワード
建築計画 建築設計	高齢者グループリビング
学位	最終学歴
博士(工学)	京都大学博士課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 動作を伴う演習、気づきをうながす講義	2014年10月1日～2019年3月31日	一方的に話を行うスタイルではなく、受講者の内発的な気づきをもたらす工夫を行ってきた。 具体的には、車椅子での住宅再現空間の走行を始めとする、メジャーをもって建物の寸法を測るなどの演習のほか、質問形式で受講生に考え、周囲と話あう時間を設け、発表してもらおうなどのワークショップ形式を取り入れるなどである。
2 作成した教科書、教材		
1. 兵庫県チェックアンドアドバイス制度にもとづく建築士アドバイザーに対するチェックポイント集の作成	2016年03月31日	兵庫県福祉のまちづくり条例における施設点検制度(チェックアンドアドバイス制度)では、登録している建築士アドバイザーへの教育の一環として、よく指摘があるポイントについて、わかりやすく説明をおこなった。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 色彩検定 2級	2016年7月19日	登録 161000147
2. インテリアコーディネーター	2008年4月1日	登録番号080421A
3. 一級建築士	2005年4月20日	登録319539号
4. 福祉住環境コーディネーター2級	2002年11月24日	証書番号09-2-03392
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 高齢者の共同居住に適合した住宅の運営手法に関する研究	単	2016年7月25日	京都大学	親子や配偶関係といった強い紐帯を有する個人が減少する社会背景において、共同居住が個人の社会関係を豊かにするために有効であると考え、特に高齢者に着目してその運営手法を検討した。 共同居住で営まれる生活実態とその行為が発生する経緯を把握し、共同居住が成立するための背景因子は何かを考察した。
3 学術論文				
1. 都心部立地の高経年コーポラティブ住宅群における 運営履歴の解明 一同年代、同規模の特質を持つ「都住創」シリーズの比較を通して(2)ー	共	2019年12月	日本建築学会住宅系論文報告会論文集14 pp. 141-148	一連のシリーズとして同一地域・同年代・同規模で建設された他の「都住創」における運営過程を明らかにすることが研究目的である。管理体制と管理の状況、新規居住者への面接実施と理念継承について扱った。
2. 都心部立地の高経年コーポラティブ住宅群における 所有者・利用者変遷の解明 一同年代、同規模の特質を持つ「都住創」シリーズの比較を通して(査読付)	共	2018年11月	日本建築学会 日本建築学会住宅系論文報告会論文集13 pp. 209-214	建設後時間が経過したコーポラティブ集合住宅の状態を把握することを目的にしている。研究対象は「都住創」シリーズである。これは大阪都心部を中心に20棟存在する。7戸～19戸と比較的小規模な住戸で構成される。築後16～40年経過している。土地建物登記簿調査より、各住宅の所有権の移転を把握し、住宅地図の名簿との照合をおこなった。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
3. 高齢者グループリビングの運営実態 -北海道北見市にある「じゅげむ館きたみ」の居住者履歴を通して(査読付)	単	2017年12月	日本建築学会 第12回住宅系研究報告会論文集 pp243-248	著作者：宮野 順子, 荒木公樹 論文全体の執筆を担当 高齢者等居住安定化事業の補助金を得て整備された高齢者の共同居住住宅の運営実態について、居住者履歴より分析を行った。
4. QUALITY OF LIFE RESULTING FROM THE RELATIONSHIP BETWEEN RESIDENTS IN ELDERLY GROUP LIVING -A study through management history of 'GROUP HOUSE SAKURA' (査読付)	単	2016年9月	Proceedings of the 11th ISAIA pp. 454-459	国内で最長の運営履歴を有する高齢者グループリビングにおいて営まれた生活に焦点をあてる。居住者間の関係や生活の質について、グラウンデッドセオリーアプローチという質的研究方法を用いて分析を行なった。
5. 小規模多機能型居宅介護サービスと連携する 高齢者の共同居住住宅の運営実態 - 兵庫県相生市Mの家の居住者履歴を通して-(査読付)	共	2016年9月	日本建築学会 第11回住宅系研究報告会論文集 p135-140	小規模多機能型居宅介護サービスと連携する高齢者の共同居住住宅の運営実態について、居住者履歴より分析を行った。 共著者：宮野順子 絹川麻理 高田光雄 論文全般を担当
6. 高齢者グループリビングにおける居住者間関係と生活の質-「グループハウスさくら」の運営履歴を通して-(査読付)	共	2016年3月	日本建築学会計画系論文集 第81巻第724号 pp. 1363-1372	国内で最長の運営履歴を有する高齢者グループリビングにおいて営まれた生活に焦点をあてる。居住者間の関係や生活の質について、グラウンデッドセオリーアプローチという質的研究方法を用いて分析する。 共著者：宮野順子 高田光雄 論文全般を担当
7. The reality and signification of Access audit based on user participation A study through "Check & Advise System" in Hyogo Prefecture, Japan(査読付)	共	2016年12月	第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議2016in名古屋	障害などの当事者と施設管理者が共同で施設のバリアフリーチェックを行う兵庫県チェックアンドアドバイズ制度についての分析を行った。 共著者：Junko Miyano, Hiroshi Kitagawa, Nobuyuki Mitani, Ken Namba 論文全般を担当
8. 高齢者の郊外居住における居住の継続に関する研究 -都市・福祉行政連携の現状・課題と展望	共	2015年8月	日本福祉のまちづくり学会第18回全国大会(柏大会)	難波 健, 宮野, 順子, 北川 博巳 調査と分析の一部を担当
9. 株式会社方式によるコレクティブハウジングの運営実態-居住者会議の項目分析を通じて-(査読付)	共	2015年11月	日本建築学会計画系論文集 第80巻第717号pp. 2635-2644	欧米の組合所有という所有形態を模した株式会社方式という国内唯一の所有形態を採用するコレクティブハウジングについて、これまでの居住者会議の分析を通して、運営実態を明らかにする。 共著者：宮野順子 高田光雄 論文全般を担当
10. 住民参加型の点検と助言に依る施設改善に関する研究-兵庫県におけるチェック&アドバイズ制度を事例として- (その2)	共	2015年	日本福祉のまちづくり学会第18回全国大会(柏大会) 概要集DVD	宮野 順子, 難波 健, 三谷 信之, 北川 博巳 論文全体の執筆を担当
11. 開放的な間仕切り建具により一体空間となる住宅の提案とその検証(査読なし)	共	2013年3月	都市住宅学会「都市住宅学」第83号, pp132-137	遠藤事務所で建築設計を担当した都市機構の子育て世帯向け集合住宅について、居住者調査を通して、開放的な間仕切り壁の使われ方について調査した。 共著者：宮野順子 高田光雄 安枝英俊 論文全般を担当
12. 京阪神における東日本大震災遠隔地避難者の居住支援状況に関する調査研究(査読付)	共	2012年10月	都市住宅学会「都市住宅学」第79号 pp132-137	遠隔地避難先として関西圏の中で？避難者か？多い京都府・大阪府・兵庫県における居住支援の状況を明らかにすることで？、非常時の遠隔地における居住支援のあり方と、非常時の居住支援に対応できる平常時の住宅供給の仕組みについて、遠隔地避難者の居住実態と居住支援に対するアンケート調査から明らかにした。 共著者：関川華 前田昌弘 宮野順子 菅井牧子 立案、考察の一部を担当
13. 親子・配偶関係を含まない同居の住まい方からみた住戸内共用空間に関する研究(査読付)	共	2011年8月	日本建築学会計画系論文集 第76巻第666号 pp. 1363-1370	親子・配偶関係を含まない同居(シェアードハウジング)の27事例に対し、住み方調査、滞在時間調査、ヒアリング調査を行い、その実態を明らかにした。 共用空間が使われ、その住み方が有効に機能しているのは、居住者の立場が対等なもの、非対等なものがあったが、いずれにせよ週に1回以上食事を共にするなど、居住者交流が保たれているものであった。 共著者：宮野順子 高田光雄 安枝英俊 論文全般を担当
14. コレクティブ住宅の運営実態とその課題-異なる事業方式を採用する2事例の分析を通して-(査読付)	共	2011年11月	住宅系研究報告会論文集6 pp. 233-240	賃貸形式と株式会社形式というそれぞれ異なる運営形式を採用するコレクティブハウジングの事例についてその実態を把握し、特徴と課題を捉えた。 共著者：宮野順子 高田光雄 安枝英俊 論文全般

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
15. 東日本大震災後の応急居住と遠隔 地避難-関西圏における居住支援 の現状と位置づけ（査読付）	共	2011年11月	日本住宅会議「住宅会 議」 第83巻pp. 28-30	を担当 今回の東日本大震災を機に応急居住の受け皿を求め て被災地以外の場所へと避難した被災者の存在に着 目し、遠隔地避難の現状とその課題を明らかにした 。 共著者：関川華 前田昌弘 宮野順子 菅井牧子 立案、考察の一部を担当
16. 堀川団地再生に向けた検討課題の 整理：市街地型の公的住宅団地 の再生に関する研究 その1	共	2010年8月	日本建築学会大会学術 講演梗概集	垣田 悠三子, 高田 光雄, 神吉 紀世子, 安枝 英俊, 土 井 脩史, 森重 幸子, 宮野 順子, 岡本 陽平
17. 支援と交流を考慮した住まいの計 画に関する基礎的研究-プライバ シーによる空間のモデル化とその 検証（査読付）	共	2010年11月	住宅系研究報告会論文 集5 pp. 259-264	支援と交流を考慮した住まいとして、地域開放型サ ロン、テ？イサーヒ？スセンター、ク？ルーフ？ホ ーム、高齢者 賃貸住宅、オーナー住宅による複合用 途の建物、および、高齢者グループリビングについ て、空間構成のあり方について検討した。 共著者：宮野順子 高田光雄 安枝英俊 論文全般 を担当
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 都心部立地の高経年コーポラティ ブ住宅群における運営履歴の解明 同年代、同規模の特質を持つ「 都住創」シリーズの比較を通して (1) 管理体制と新規居住者	共	2019年9月	日本建築学会大会学術 講演梗概集	
2. 認知症高齢者が生活する介護保険 事業所の建築計画的課題と職員の 工夫 -認知症介護実践研修受講者 に対する生活環境についてのアン ケートより-	単	2017年8月	日本福祉のまちづくり 学会第20回記念全国大 会in東海	
3. 高齢者グループリビングの運営実 態 - 北海道北見市にある「じゅ げむ館きたみ」の居住者履歴を通 して -	単	2017年8月	2017年度日本建築学会 大会（中国）	
4. 介護保険施設・事業所における 生活環境構築のための課題と工夫 認知症介護実践研修受講者に対 する自由記述回答の分析	単	2017年6月	日本老年社会科学会第5 9回大会	
5. 軽度認知障害を患う人のためにで きる環境改善の小さなアイデア	共	2017年4月	第32回国際アルツハイ マー病協会国際会議	
6. 住民参加型の点検と助言に依る施 設改善に関する研究-兵庫県にお けるチェック&アドバイス制度を 事例として-（その2）	共	2015年7月	日本福祉のまちづくり 学会全国大会	宮野 順子, 難波 健, 三谷 信之, 北川 博巳 論文全般 の執筆を担当
7. 高齢者グループリビングの居住者 の変遷と高齢化の対応-「グルー プハウスさくら」を通して-	共	2015年	日本建築学会大会学術 講演梗概集	宮野順子, 高田光雄
8. 2000年以前に開設されたグルー プリビングの運営組織の変遷	共	2014年8月	2014年度日本建築学会 大会(近畿)学術講演会 梗概集	宮野順子, 高田光雄
9. 堀川団地'やわらかい'まちづくり 再生ビジョン その2	共	2012年8月	2012年度大会(東海)学 術講演会梗概集	石田 洋輝, 高田 光雄, 安枝 英俊, 生川 慶一郎, 森重 幸子, 土井 脩史, 宮野 順子 調査と分析の一部を担 当
10. 堀川団地'やわらかい'まちづくり 再生ビジョン その1	共	2012年	2012年度大会(東海)学 術講演会梗概集	生川 慶一郎, 高田 光雄, 安枝 英俊, 森重 幸子, 土井 脩史, 宮野 順子, 石田 洋輝
11. 堀川団地の再生におけるまちづく り協議会の設立と展開：市街地 型の公的住宅団地の再生に関する 研究 その3	共	2011年8月	日本建築学会大会学術 講演梗概集	生川 慶一郎, 土井 脩史, 高田 光雄, 宮野 順子, 安枝 英俊, 桜井 俊彦, 森重 幸子 調査と分析の一部を担 当
12. 堀川団地における法的側面からみ る改修可能性の検討：市街地型 の公的住宅団地の再生に関する研 究 その4	共	2011年8月	日本建築学会大会学術 講演梗概集	宮野 順子, 森重 幸子, 高田 光雄, 土井 脩史, 安枝 英 俊, 桜井 俊彦, 生川 慶一郎 論文全体の執筆を担当
13. 各住棟のキャパシティからみた堀 川団地再生の方向性の検討：市 街地型の公的住宅団地の再生に関 する研究 その2	共	2010年8月	日本建築学会大会学術 講演梗概集	
14. 協同居住空間における個人間の距 離調節についての考察	共	2009年8月	日本建築学会大会梗概 集	宮野順子, 安枝英俊, 高田光雄

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
15. 親子・配偶関係を含まない同居の形態と住まい方 その1	共	2001年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	吉池 寿顕, 宮野 順子, 重村 力, 浅井 保, 駒井 陽次 論文全体の執筆を担当
16. 親子・配偶関係を含まない同居の形態と住まい方 その2	共	2001年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	宮野 順子, 重村 力, 浅井 保, 吉池 寿顕, 駒井 陽次
17. 高齢者の居住継続と近隣社会環境に関する研究 その2: 京都都心部の旧小学校区に着目して	共	2000年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	室崎 千重, 重村 力, 山崎 寿一, 宮野 順子 論文の調査の一部を担当
18. 高齢者の居住継続と近隣社会環境に関する研究 その2: 京都都心部の旧小学校区に着目して	共	2000年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	室崎 千重, 重村 力, 山崎 寿一, 宮野 順子 調査の一部を担当
19. 友人グループ居住の可能性: 「下宿屋バンク関西」の事例をとおして	共	1999年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	宮野 順子, 重村 力 論文の全体を執筆
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 阿倍野区 マンションリノベーション工事	共	2015年	THNK一級建築士事務所 共同設計(副担当)	大阪市阿倍野区におけるマンションリノベーションの設計・監理業務。基本計画、基本設計の一部を担当。
2. 生野区 障害者グループホーム新築工事		2015年～2017年	THNK一級建築士事務所 共同設計(副担当)	大阪市生野区における新築障害者グループホームの設計・監理業務。基本計画、基本設計の一部を担当。 木造2階建
3. 福島区 シェアハウス新築工事	共	2015年～2017年	THNK一級建築士事務所 共同設計(主担当)	大阪市福島区における新築シェアハウスの設計・監理業務。基本計画、基本設計、実施設計を担当。
4. 奈良県生駒市 住宅リノベーション工事	共	2014年	THNK一級建築士事務所 共同設計(主担当)	奈良県生駒市にある戸建住宅の一部リノベーションの設計・監理業務。基本計画、基本設計、実施設計を担当。木造2階建
5. 奈良県大和郡山市 カフェへのコンバージョン工事	共	2012年	THNK一級建築士事務所 共同設計(副担当)	奈良県大和郡山市における住宅をカフェにコンバージョンを行う設計・監理業務。基本計画、基本設計の一部を担当。木造2階建
6. 大阪府堺市 デイサービスへのコンバージョン工事	共	2012年	THNK一級建築士事務所 共同設計(副担当)	大阪府堺市における住宅をデイサービスへコンバージョンを行う設計・監理業務。基本計画、基本設計の一部を担当。鉄筋コンクリート壁式構造2階建
7. 兵庫県三田市 住宅リノベーション工事	共	2012年	THNK一級建築士事務所 共同設計(主担当)	兵庫県三田市にある戸建住宅の一部リノベーションの設計・監理業務。基本計画、基本設計、実施設計を担当。木造2階建
8. 大阪市中央区 マンションリノベーション工事	共	2012年	THNK一級建築士事務所 共同設計(主担当)	大阪市中央区におけるマンションリノベーションの設計・監理業務。基本計画、基本設計、実施設計を担当。鉄筋コンクリート造14階建のうちの1フロア
9. 大阪府吹田市 住宅リノベーション工事	共	2012年	THNK一級建築士事務所 共同設計(副担当)	大阪府吹田市における戸建住宅の一部リノベーションの設計・監理業務。基本計画、基本設計、実施設計の一部を担当。鉄骨造2階建
10. ビッグカーサ堺しらさぎ駅前 現場監理時補助業務	共	2011年	遠藤剛生建築設計事務所	ビッグカーサ堺しらさぎ駅前 現場監理時補助業務
11. 都市再生機構 既存団地魅力発見サイト「美団地」提案業務	共	2009年	遠藤剛生建築設計事務所	都市機構の既存団地の魅力を再発見、発信するweb siteのコンテンツ提案業務
12. 大阪府堺市 小規模多機能福祉施設へのコンバージョン工事	共	2008年	THNK一級建築士事務所 共同設計(副担当)	大阪府堺市における住宅を小規模多機能福祉施設へコンバージョンを行う設計・監理業務。基本計画、基本設計の一部を担当。木造2階建
13. 鳥取県鳥取市 住宅新築工事	共	2008年	THNK一級建築士事務所 共同設計(副担当)	鳥取県鳥取市における住宅の設計・監理業務。基本設計の一部を担当。木造2階建
14. クラスヒルズ東豊中 基本設計業務	共	2008年～2009年	遠藤剛生建築設計事務所	大阪府豊中市における民間分譲マンション462戸の基本設計業務。主に、住戸設計の主担当を担う。
15. パークタウン西武庫 基本設計-実施設計	共	2004年～2005	遠藤剛生建築設計事務所	都市機構団地建替業務における基本設計、実施設計を担当。
16. 高見フローラルタウン17号棟 実施設計	共	2003年	遠藤剛生建築設計事務所	都市機構団地新築の実実施設計の業務を担当。
17. 五月が丘 戸建て住宅地計画 基本設計	共	2002年	遠藤剛生建築設計事務所	大阪市豊中市における民間戸建て分譲住宅の基本設計業務
18. ルネサンクタスナシオンヒルズ 基本設計-実施設計-現場監理(常駐)	共	2001年～2003	遠藤剛生建築設計事務所	兵庫県西宮市における民間分譲マンション154戸の基本設計-実施設計-現場監理におけるすべての業務を担当。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 「無届け老人ホーム」が示唆する課題の解明と新たな住まいの枠組みの提案	単	2019年4月1日～2022年3月	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）	3,770千円 本研究では「無届け老人ホーム」を社会ニーズに対する民間の自発的な応答と捉える視点から、単身高

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
6. 研究費の取得状況				
2. 少子高齢化社会に対応した子育て支援住環境システムの構築と実装に関する研究	共	2017年4月1日～2021年3月	若手研究 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金(基盤研究(A))	高齢者の住まいの実態から、そのあり方を検討し、新たな枠組みを提案することを目的としている。 研究者：高田光雄(研究代表者), 宮野順子(分担研究者)他11名 助成金額：37,200千円 子育て支援住環境システムの構築として、既成市街地における調査研究を担当した。
3. 都心部立地の高経年コーポラティブ住宅群における運営履歴の解明	共	2016年6月1日～2019年10月	一般財団法人 住総研： 2017年度研究助成	研究者：宮野順子(代表), 荒木公樹 助成金額：1,000千円 大阪の都心部に立地する高経年コーポラティブ住宅群 都住創シリーズに着目し、登記簿調査と居住者へのヒアリング調査により運営履歴の解明した。
4. 認知症高齢者グループホームにおける居住者間の相互作用に着目した環境デザインに関する研究	単	2016年4月1日～2019年3月	独立行政法人日本学術振興会 平成26年度 科学研究費補助金(若手研究(B))	助成金額：1,700千円 認知症高齢者グループホームにおける居住者間の相互作用に着目した環境デザインに関する研究を行った。
5. 長期居住を可能にする中高年シェアハウスの運営システムに関する研究	単	2014年4月1日～2016年3月	独立行政法人日本学術振興会 平成26年度 科学研究費補助金(奨励研究)	助成金額：800千円 長期居住を可能にする中高年シェアハウスの運営システムに関する研究を行った。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2020年4月1日～現在	加古川市建築審査会
2. 2020年1月1日～現在	尼崎市社会福祉施設等整備費補助金交付対象事業者選定委員会
3. 2017年10月1日～2018年2月1日	枚方市駅周辺再整備基本計画アドバイザー選定委員
4. 2016年4月1日～2017年3月31日	兵庫県 県土整備部 住宅建築局 住宅政策課 住宅審議会委員
5. 2016年4月1日～現在	尼崎市指定地域密着型サービス 事業者等選定委員会
6. 2013年4月1日～現在	日本福祉のまちづくり学会, 関西支部 理事
7. 2009年7月1日～2011年3月1日	西宮市住宅マスタープラン検討委員会・作業部会
8. 2009年4月1日～現在	都市住宅学会
9. 2008年4月1日～現在	日本建築学会